



①



②



③



④



⑤

①：絹の台桜公園。広々とした園内で、思い思いの時間を過ごせる／②：板橋不動尊。歴史的建造物と桜との壮麗なコントラストを楽しむ／③：市歴史公園の桜。自然と歴史を感じながら散歩できる／④：福岡堰の桜。条件が良ければ、水面に映る美しい桜並木を楽しむ／⑤：きらくやまふれあいの丘。施設入り口に向かって美しい桜のトンネルが続く

春の息吹を、感じよう。

野

に春の訪れを告げる桜の開花。今年も暖冬だったこともあり、市内の桜のつばみも例年より早くはじまり、日ごとに華やかさを増してきました。今回の特集では市内のさまざまなところで見ごろを迎えた桜をご紹介します。

福岡堰は岡堰、豊田堰とともに関東三大堰に数えられています。小貝川と堰から流れる用水との間の堤沿いには、約600本の桜が植えられており、開花期には、薄紅色のアーチが約1.8kmに渡って延び、見事な景観をつくり上げています。華麗に咲き誇るその様はまさに圧巻。その美しさから付近一帯は、茨城観光100選にも選ばれている市内屈指の桜の名所です。

また、近くには大型遊具を備えた広い公園「福岡堰さくら公園」もあり、天気の良い日には、家族でお弁当を広げる姿も多く見られる人気のスポットとなっています。

きらくやまふれあいの丘

は、市内神生地区にあります。施設の周辺には田園が広がり、豊かな緑に囲まれたのどかな場所です。きらくやまは、「すこやか福祉館」、「世代ふれあいの館」をはじめ、テニスコートや多目的広場などを備えた総合福祉施設となっています。春になると、施設に向かう桜の並木道が一斉に花開き、桜のトンネルが訪れた方を出迎えます。また、夜には竹で作った灯籠に明かりがともされ、桜と一緒に春の夜を彩ります。

絹

の台桜公園は、広々とした園内に芝生が広がり、中央の広場を包み込むように桜が植えられています。桜が見頃を迎える時期は、桜の木の下にレジャーシートを広げ、友人や家族とのだんらんを楽しんだり、読書やジョギングなど、思いの時間を過ごす姿が見られます。

今回紹介した花見スポットのほかにも、市内には桜を楽しむ場所がたくさんあります。ぜひ、自分のお気に入りの場所を探してみてください。